

[別紙 2]

審査の結果の要旨

氏名 木村 美枝子

本研究は、糖尿病をはじめとする慢性疾患を有する人への支援のあり方として近年推奨されているエンパワーメントモデルに基づく支援（Nondirective support）、および、従来の医学モデルに基づく支援（Directive support）がどのように提供されているか、また、臨床指標にどのような影響を与えるのか明らかにしていく上で有用と考えられる Nondirective and Directive Support Survey 日本語版を開発し、その信頼性と妥当性を検証した。次いで、心理的問題を抱えやすい糖尿病患者において、医療従事者から提供された支援が糖尿病患者の精神健康に与える影響について解析を試み、下記の結果を得ている。

1. Nondirective and Directive Support Survey 日本語版の開発

(1) 因子的妥当性

オリジナル版と同様2つの因子が抽出され、それぞれ第1因子は Nondirective support、第2因子は Directive support と解釈された。

(2) 内的一貫性

Cronbach の α 信頼係数は 0.81~0.91 であり、十分な信頼性が確認された。

(3) 構成概念妥当性

外部尺度との相関から、Nondirective support および Directive support の構成概念の妥当性が確認された。

2. Nondirective support と Directive support の糖尿病患者の不安・抑うつに対する影響

(1) 不安・抑うつを従属変数、性別、年齢、不安・抑うつによる過去の受診歴を調整変数、Nondirective support および Directive support を独立変数とした解析を行ったところ、Nondirective support は不安・抑うつを弱める方向の、Directive support は不安・抑うつを強める方向の関連が認められた。

(2) 先行研究において抑うつとの関連が示されているセルフケア行動、インスリン使用の有無、血糖コントロール、合併症の総数を独立変数として追加投入し解析を行ったところ、Nondirective support は不安・抑うつを弱める方向の、Directive support およびインスリンの使用は不安・抑うつを強める方向の関連が認められた。

以上、本論文は、エンパワメントモデルに基づく支援（Nondirective support）および従来の医学モデルに基づく支援（Directive support）が、糖尿病患者の精神健康におよぼす影響について明らかにした。本研究は、これまで明確にされることのなかった糖尿病をはじめとする慢性疾患を有する人たちに医療従事者が提供する支援内容の実際と、それらの支援が慢性疾患患者の臨床指標に与える影響の解明に重要な貢献をなすと考えられ、学位の授与に値するものと考えられる。